

「野菜づくり」で未来をつなぐ！

あきたで生きる～秋田の地域資源を活用し、秋田で暮らし、秋田を活かす取組～



秋田市河辺

せせらぎ農園

代表者 星 容子



せせらぎ農園 ig

経営面積 | 約2ha

作物 | たまねぎ・キャベツ・ねぎ・かぶ等

構成員 | 代表と両親

販売先 | 直売所・スーパーマーケット

秋田市河辺地域で、たまねぎを始めとした野菜づくりに取り組む女性農業者をご紹介します。秋田では栽培が難しいとされる「春植えたまねぎ」に挑戦し、家族や地域の協力を得ながら品質向上に努めています。また、食育活動や子ども食堂への支援にも積極的に取り組み、農業委員として女性ならではの視点を活かし、地域の未来につなぐ活動を続けています。

▶ きっかけ

県内の病院で働いていた際に体調を崩し、実家に戻ったことが、野菜づくりに親しむ契機になりました。家の仕事を手伝ううちに、幼い頃に見た両親が“楽しそうに農業に向き合う姿”を思い出し、農作業を通じて心身が少しずつ回復していったといいます。この経験から「農業には人を支える力がある」と強く感じ、平成28年に就農を決意しました。その後、秋田市が行う野菜栽培の冬季研修に参加しながら父のもとで本格的に栽培技術を学びました。



●お子さまと「たまねぎ」の種まきをする星さん

▶ 取組

借り受けた畑を含む約2haのほ場で、たまねぎとキャベツを中心に様々な野菜づくりに取り組んでいます。生育期間の日照の確保などが課題となる「春

植えたまねぎ」は、始めはなかなか思いうようなサイズのものが出来なかったものの、冷涼な北海道の栽培技術を参考にしながら、秋田の気候や土質に合わせた土づくりや管理の工夫を重ね、品質向上に努めています。収穫期には、家族のほか援農ボランティアの支援も受け、採れたての野菜を直売所やスーパーマーケットで消費者の方に届けています。



●ブラウブリッツ秋田の選手の皆さんに「かぶ」の収穫方法を説明する星さん

また、自身の経験を活かし、食育や地域支援に積極的に取り組んでいます。10年以上にわたり保育園が取り組む野菜づくりや収穫体験を支えるほか、子ども食堂やフードバンク等へ生産した野菜を届け、地域とのつながりを大切に、活動を続けています。

さらに、農業委員としても活動しており、女性の就農やその際の農地確保について相談に乗るなど、状況に応じた助言や支援を行っています。



●「さつまいも」の苗を植える園児たち

▶ これから

星さんは、自身の農園を子ども食堂や農家レストランとして活用できる交流拠点とし、誰もが気軽に立ち寄って農業の魅力を実感できる学びの場としていきたいと考えています。

また、近隣の沼に生育する「じゅんさい」などの資源を生かして、収穫体験の充実を図り、農業を通じて未来につながる魅力的な地域づくりをしたいと話していただきました。

●印写真：せせらぎ農園提供

